## (18) その他の取組について

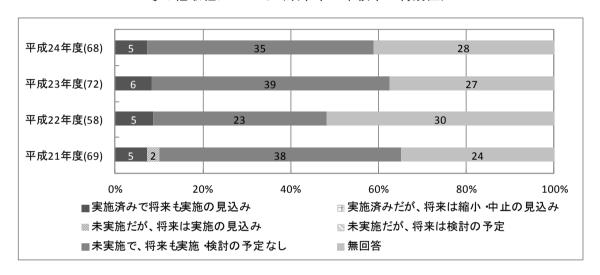
## ■今年度の特徴

「実施済みで、将来も実施の見込み」が1割弱にとどまっている。一方、「未実施で、将来も実施・検討の予定なし」が5割強となっている。

# ■トレンド

ほぼ横ばいに推移している。

## その他取組について(政令市・中核市・特別区)



○ 「実施済みで、将来も実施の見込み」が5件(7%)、「未実施で、将来も実施・検討の 予定なし」が35件(51%)となっている。

# <その他の取組に対する特徴的な回答>

自治体	回答内容
新潟市	新潟県の「新潟県レジ袋削減県民運動宣言」に併せて「新潟市ノーレジ
	袋運動宣言」を実施
岡山市	10 月に4R啓発展を実施し、その中でマイバックの推進についても啓
	発している。
郡山市	オリジナルエコソング「涙のレジ袋」を作成し、本市のウエブサイトで
	公開しているほか、街頭啓発やイベントで披露している。
西宮市	①レジ袋の無料配布を中止する
	②レジ袋の収益金を環境保全活動等に活用する
	③レジ袋を辞退された市民に対して物品等を提供する(ポイント制等)
	④繰り返し使用が可能な買い物袋(マイバック・マイバスケット)等
	を提供する
	⑤ノー!レジ袋の日を設け買い物袋持参(マイバック・マイバスケッ
	ト)を促進する
	⑥レジ袋削減への取り組みをポスターやチラシ等で啓発する
	⑦商品の量り売りなど(生鮮食品等の販売で袋詰めすることを控える)
	促進する
	⑧トレイ、ラップ、紙製容器包装の削減などの発生抑制や排出抑制を
	促進する
新宿区	「新宿エコ自慢ポイント」により、区民のレジ袋辞退を促すとともに、
	『新宿発「エコなくらし」 3 R 協働宣言』を周知する中で、レジ袋の削
	減をアピールしていく。事業者においては、行動計画の中でレジ袋辞退
	率削減目標を立てるなど、消費者に対して取り組みの姿勢を示すものと
	なっている。
葛飾区	・平成24年度は、平成22年度からかつしかごみ減量・リサイクル推
	進協議会において企画した、商店街で買い物をする際にレジ袋を断っ
	た人にスタンプカードに押印を行い、一定のポイントが貯まった時点
	で景品と交換を行う取組につて継続して実施し、行政はそのスタンプ
	カードや景品等の支援を行っていく。
	・かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会でマイバッグの利用状況、
	マイバッグを使いやすい環境、所持枚数等のアンケート調査を実施し
	た。